

はたらく仲間のみなさんへ

地域にくらす、すべての方々へ

誰もが安全・安心できる医療・介護の実現へ、 「夜勤改善・大幅増員」国会請願署名へのご協力をお願いします

私たちは、広島県内の病院や診療所、介護・福祉の職場で働く職員 5 千名でつくる労働組合の産別組織、広島県医労連です。私たちは今、看護師・介護職員など夜勤・交替制労働者の夜勤改善と医師・看護師・介護職員などの大幅増員、患者・利用者負担の軽減と社会保障の充実を求めて、全国の仲間と共に取り組みをすすめています。

「いつでも、どこでも、誰にでも。医療や介護が安心して受けられるようにしてほしい」と、誰もが願っています。ところが、日本は先進諸外国と比べて国や事業主の医療費負担が少なく、その分自己負担が多くされています。加えて、医療・介護従事者の不足も深刻な状況が広がっているため、よい医療・介護は、人々からどんどん遠ざけられています。

慢性的な人手不足による労働強化・過密化が、看護師や介護士の健康破壊と離職を招き、さらに人手不足を深刻化させる悪循環が続いています。年間 12 万人もの看護師が職場を辞めていき、23 人にひとりが過労死レベルと言われている異常な状況です。介護職員でも同様に、およそ 5 人に 1 人が辞めていく状況といわれます。特に夜勤の負担は大きく、16 時間以上にも及ぶ長時間夜勤や、休息する時間もとれない勤務間隔の短さなど、諸外国では考えられない無茶な働き方に規制をかけることが、一刻も早く求められています。

これまでのみなさんのご支援のおかげで、昨年 6 月には、ようやく厚生労働省も重い腰をあげ、「看護師等の勤務環境の改善なくして、持続可能な医療提供体制や医療安全の確保は望めない。夜勤・交替制労働者等の勤務環境改善は、喫緊の課題」などとした、「5 局長通知」をだしました。

私たちは、「今こそこれまで以上に大きな運動を広げ、このチャンスを結実させよう！」と話し合い、これまで以上に取り組みをつよめることを決めました。すべての働く仲間のみなさんや、地域にくらす方々にも、ひとまわり大きなご支援・ご協力をいただけますよう、お訴えさせていただいているところです。

つきましては、私たちが来春 200 万筆の国会提出をめざす『安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める国会請願署名』（略称「夜勤改善・大幅増員署名」）について、是非とも、みなさまよりお力添えを頂戴できますよう、心よりお願い申し上げます。



2012 年 9 月吉日

広島県医療労働組合連合会

執行委員長 桜井 和春

看護闘争委員長 亀井 恵美子



【連絡先】 〒732-0827 広島市南区稲荷町 5-5 松田ビル 201 号

電話 082-262-1575 / FAX 082-262-1586